

## JTの10年を回顧する

JTグループには環境変化を見据えた上で、その環境変化に適応すべく、自らの意思により自己変革を行ってきたという歴史があります。

過去10年においても、積極的かつ迅速な事業投資ならびに組織のスリム化を実行してきました。

## 過去10年のEBITDA成長

注) EBITDA=営業利益+減価償却費



### 1998年9月

(株)ユニマツコーポレーション(現「(株)ジャパンビレージ」)の発行済株式の過半数を取得。

### 1998年12月

鳥居薬品(株)の発行済株式の過半数を、公開買付により取得。

### 1999年7月

旭フーズ(株)等子会社8社を含む旭化成工業(株)の食品事業を取得。

### 1999年10月

鳥居薬品(株)との業務提携により、医療用医薬品事業における研究開発機能を当社に集中し、プロモーション機能を鳥居薬品(株)に統合。

### 2000年9月

缶コーヒーの新ブランドとしてRootsを発売。

### 2002年5月

(株)サンジェルマンの全株式取得によりベーカリー事業を本格展開。

### 2003年2月

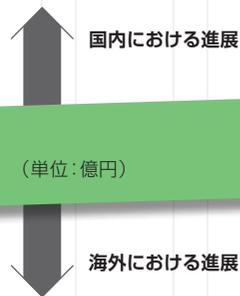
D-spec製品「ルーシア・シトラスフレッシュ・メンソール」発売。

### 2003年3月

たばこ製造工場を3工場閉鎖。2003年度から国内たばこ製造拠点は25工場から22工場体制となる。

### 2004年3月

たばこ製造工場を4工場閉鎖。2004年度から、国内たばこ製造拠点は18工場体制となる。



2,701

3,151

3,120

3,341

3,373

### 1999年5月

米国のRJRナビスコ社から米国外のたばこ事業をウィンストン、キャメル、セーラム等のブランドと共に取得。

### 2000年度

たばこ製造工場を2工場閉鎖。2001年度からたばこ製造拠点は21工場から19工場体制となる。

### 2001年度

たばこ製造工場を2工場閉鎖。2002年度からたばこ製造拠点は17工場体制となる。

### 2002年度

たばこ製造工場を1工場閉鎖。2003年度からたばこ製造拠点は16工場体制となる。

1998

1999

2000

2001

2002

**2004年10月**  
脂質異常症治療薬「JTT-705」をスイスのロシュ社へ導出。

**2005年3月**  
抗HIV薬「JTK-303」を米国ギリアド・サイエンス社へ導出。

**2005年3月から4月**  
たばこ製造工場を8工場閉鎖。2005年度から国内たばこ製造拠点は10工場体制となる。

**2005年4月**  
マールポロ製品の日本国内における製造及び販売、商標を独占的に使用するライセンス契約の終了。

**2006年**  
「マイルドセブン」ファミリー14銘柄のデザイン変更。

**2007年**  
マイルドセブン30周年キャンペーンを実施し、積極的な販促活動を行う。

**2008年1月**  
(株)加ト吉の発行済株式の過半数を、公開買付により取得。

**2008年3月**  
1985年の会社化以来、初のシェア反転を成し遂げる。

**2008年4月**  
富士食品工業(株)の発行済株式の過半数を取得。

**2008年4月**  
脂質異常症治療薬「JTT-705」について、導出先であるスイスのロシュ社がPhase 3への移行を公表。

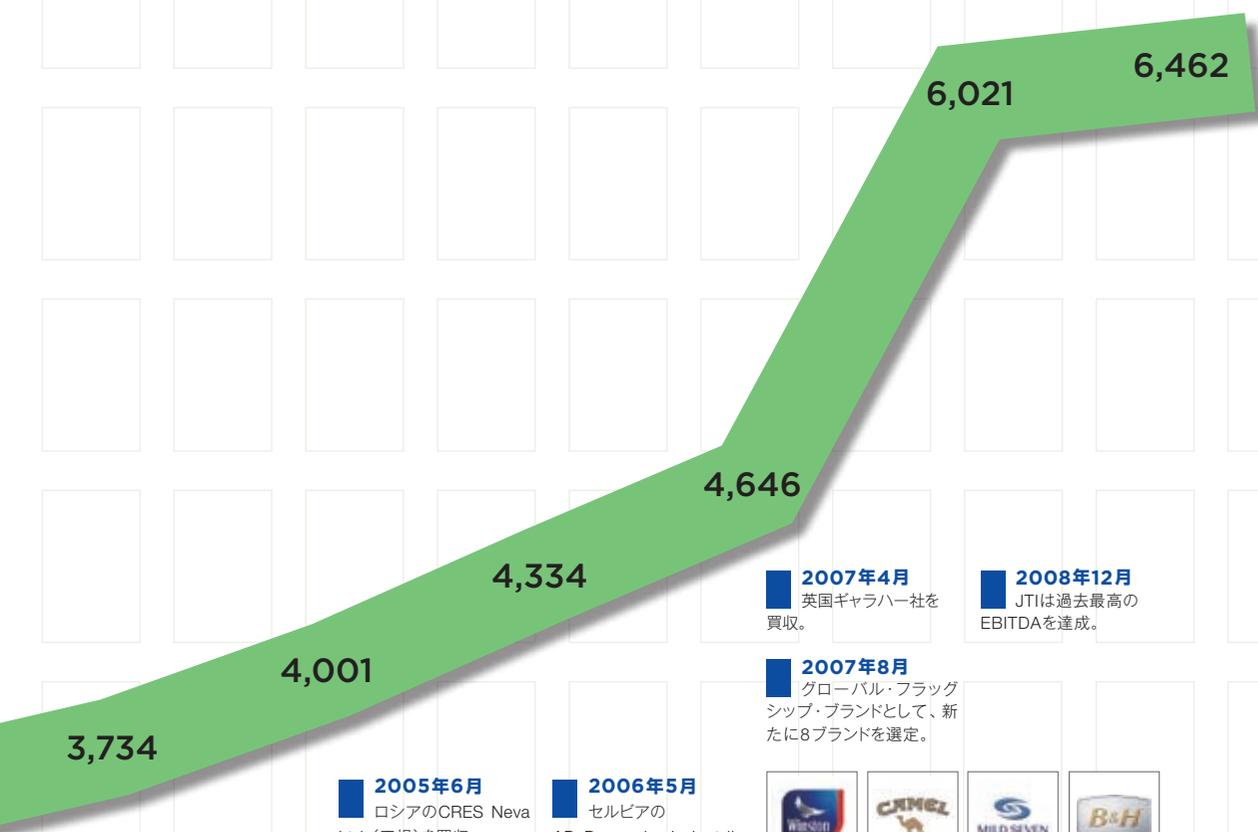
**2008年7月**  
加工食品事業・調味料事業を加ト吉グループに集約。

**2008年7月**  
抗HIV薬「JTK-303」について導出先である米国ギリアド・サイエンス社がPhase 3への移行を公表。

**2008年9月**  
骨粗鬆症治療薬「JTT-305」を米国メルク社へ導出。

**2009年3月**  
たばこ製造工場を1工場閉鎖。国内たばこ製造拠点は2009年度から9工場体制となる。

**2009年3月**  
2年連続シェア増を達成。



**2005年6月**  
ロシアのCRES Neva Ltd. (工場)を買収。

**2006年5月**  
セルビアのAD Duvanska Industrija Senta (工場)を買収。

**2006年度**  
たばこ製造工場を1工場閉鎖。2007年度からたばこ製造拠点は17工場体制となる。

**2007年4月**  
英国ギャラハー社を買収。

**2007年8月**  
グローバル・フラッグシップ・ブランドとして、新たに8ブランドを選定。



ウインストン



キャメル



マイルドセブン



ベノン&ヘッジス



シルクカット



LD



ソブラーニー



グラマー

**2007年度**  
たばこ製造工場を2工場閉鎖。2008年度からたばこ製造拠点は31工場体制となる(ギャラハー社からの14工場を含む)。

**2008年度**  
たばこ製造工場を1工場閉鎖。2009年度からたばこ製造拠点は30工場体制となる。